

# 平成19年度 事業計画

株式会社エフエム新津の平成19年度事業計画を、下記の通りとする。

## I) 運営方針

「いざなぎ景気」を超え史上最長の景気が続いていると言われていた景況感において地方では、大型店舗の進出に押され、商店街は「シャッター商店街」と化している。企業の広告出稿の手控え・商店街の衰退と共に、広告収入を生業とする業種への影響は大きく、さらに末端のコミュニティ放送局への打撃は尚更である。しかし、他メディアと比較して、いつでもどこでも聞ける身近なラジオだからこそ広告へかける期待・底力は根強いのではないかと、費用対効果を要求するスポンサーの期待に沿えるような取組が急務との認識を新たにしている。

「防災放送局」としての更なる取組や、秋葉区を中心とした近隣行政との防災連携・地域活性化に取組む商店街との連携を充実させ、地元の元気をアピールしていく所存である。

## II) 平成19年度の課題

### (1) 災害情報提供への基盤構築

- \* 秋葉区役所と協同で「緊急告知ラジオ」の導入と運用
- \* 消防署からの「火災情報」を24時間体制で住民に報道提供できるようなシステムの構築（実働は平成20年度を予定）

### (2) ホームページの内容充実

- \* ホームページと連動した広告展開の拡大
- \* 難聴エリア・エリア外聴取者対策としてホームページから音声ダウンロード拡充「ポッドキャスト」の活用拡大

### (3) 商店街活性化イベントのサポートと営業展開

- \* 秋葉地区で「にいつ食の陣」(6月)「商店街活性化社会実験」(7～12月)等のイベントが予定されている。地域住民と一体となり参加強化及び営業展開する。

### (4) 可聴地域からの誘客をめざす遠方企業への営業アプローチ強化。

## 平成19年度 収支予算書

(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

※消費税込み表示

科目	①H19年・予算額
事業収入	60,000,000
事業支出	58,899,221
営業費用	58,899,221
①番組費	9,091,375
②技術費	4,127,200
③販売費	7,430,800
④人件費	29,180,170
⑤管理費	9,069,676
営業外費用	0
法人税	495,000
当期損益	605,779
累計損益	▲ 15,698,922

単位:円